

アグロイノベーション研究高度人材養成事業

(実施期間：平成 20～24 年度)

実施機関：東京農工大学（総括責任者：松永 是）

プロジェクトの概要

平成 19 年度「科学技術関係人材のキャリアパス多様化促進事業」により設置したキャリアパス支援センターは、本学の他、全国連合農学研究科（国立 18 大学による博士後期課程連携）の学生、若手研究者等を対象とすることで幅広い支援対象者、波及効果を持つ体制を構築しつつある。本申請課題は、こうした千数百名の支援対象者に加え、農学を中心とした全国国公立大学の学生、若手研究者から更に公募選抜した優秀な者に対して研修の機会を付与し、海外も含めた研修を通じて、食糧、水資源、環境、人口、感染症対策など 21 世紀の諸問題に関連する技術革新、産業創出、社会政策提言ができる優れた人材育成により、アグロイノベーション創出を最終目標として重点化するものである。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	イノベーション人材養成システム改革状況	実践プログラムの開発・運用状況	実施体制	今後の進め方
S	s	s	a	s	a

総合評価：S（所期の計画を超えた取組が行われている）

(2) 評価コメント

農学系を対象を絞って連合農学研究科を有機的に結びつけ、全国 40 大学のネットワーク形成により全国的なものにし、大学間の垣根を取り去り横断的に連携するシステムを自ら作り上げた成果は非常に意欲的で高く評価でき、モデルケースとなりうる。また、異分野も含めた様々な分野の企業等での長期取組を実施し就職に結びつけた成果も評価できる。今後は、国際機関・海外における実績を伸ばすことを期待する。

- ・**目標達成度**：所期目標についてすべての面で達成している。長期取組においては企業等の多様なニーズをくみ上げて、抜群のマッチング率と就職率の高さを実現した。さらには、農林水産省と連携し、公募プログラムを生み出したことは高く評価できる。また、関係者全員の意識向上も見え、全国展開が成功していることも評価できる。
- ・**イノベーション人材養成システム改革状況**：連合農学研究科を通して全国展開を進め、イノベーションを引っ張っていく人材養成という視点のもとに教員を深くコミットさせることで意識改革を行った結果、博士人材養成システム改革が進みつつあることは高く評価できる。今後は、取組を工学系にも広げることで全学展開していくことを期待する。
- ・**実践プログラムの開発・運用状況**：プログラムは横断的に展開可能な内容となっており、かつ、充実した内容となっていることは評価できる。また、長期取組受入企業、輩出先企業の業種も

多岐に渡っていることも評価できる。是非、「農学」独自の視点で新たな産業業種のカテゴリを生み出すことを期待する。

- **実施体制**：学長のリーダーシップの下、全国の農学系大学への働きかけを積極的に行い、全国の国立・私立大学の教員との安定的な連携体制を構築したことは高く評価できる。また、地域コーディネーターを配置し地域企業との連携を進めるなどの努力により多くの異分野企業を開拓し、長期取組を実施し就職につなげた。さらに、農林水産省を巻き込んで、農学分野での地域連携に戦略的な取組を行ってきたことも評価できる。
- **今後の進め方**：5年間の成果を踏まえ、大学独自の経費で発展性に対するビジョンを持ち、アグロイノベーションセンターを継続して事業に取り組んでいる。特に、全国的連携システムはモデルケースとして高く評価されるので、今後は自己資金だけではなく、外部資金の獲得に努めつつ、継続的取組を期待する。